



小金井 2020.1/1 No.501 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL042-383-1184
メールアドレス k020499@koganei-shi.jp



2020年もごみ減量に、ご協力をお願いします！

「くるカメ大作戦！ごみ減量かるた」で遊ぼう

明けましておめでとうございます。本年も「月刊こうみんかん」をよろしくお願いいたします。

お正月にみんなで楽しむ遊びといえば、かるた。

今回は、小金井市の「くるカメ大作戦！ごみ減量かるた」をご紹介します。この読み札は市内の中学生から公募したもので、日常のちょっとしたエコ活動のヒントになる作品です。ここではその中から何点かをご紹介します。年の初めに、家族や仲間たちと一緒にエコかるたで遊んでみませんか？

かるたは市ホームページからダウンロードできます。



日本一／ごみの少ない／町めざそう



公民館は、資源ごみの拠点回収を行っています

市内の公民館5館では、食品トレイ、紙パック、難再生古紙、※ペットボトル、ペットボトルキャップ、生ごみ乾燥物の拠点回収を行っています。

発泡スチロールは、食品トレイではありません。プラスチックごみとしてご家庭で出してください。

また、公民館では自治会の一斉清掃などの奉仕活動(個人の清掃活動でも結構です)で使用するボランティア袋も無料で配布しています。

※貫井北分館ではペットボトルは回収していません。



そのよこれ／ティッシュでふかず／だいふきん



いらないよ／ごみになるもの／ことわろう



各公民館でエコキャップ回収中！

エコキャップ／たくさんあつめて／ワクチンに



れいぞう庫／チェックしてから／お買いもの



ラッピング／ことわることが／おくりもの



世界の子どもたちに
ポリオワクチンを！
ペットボトルのキャップ
800個で、ポリオワクチン
1本分になります。
ご協力をお願いします。

「くるカメ大作戦！ごみ減量かるた」および、ごみに関するお問い合わせは、小金井市ごみ対策課減量推進係まで ☎042-387-9835

若者コーナー 若者による自主講座
「哲学対話～じっくりテツガクする時間～」 貫井北分館

身近な疑問を出し合って「問い」を立て対話を重ねます。「立教大学哲学対話戦線」の企画・実施です。

とき 2月15日(土) 午後1時～4時

ところ 公民館貫井北分館学習室C・D

講師 中畑邦夫さん(博士(哲学))ほか

対象 18歳以上の方ならどなたでも

定員 20人(申込順) 参加費 無料

申込 1月6日(月) 午前9時から電話、メールまたは公民館貫井北分館窓口(☎042-385-3401
 ☒k020415@bz04.plala.or.jp)へ。



成人学校 「防災クッキング“ポリパン”
誰でも簡単!ポリ袋でパン作り」 貫井南分館

キッチンでない場所でも気軽に楽しく作れるポリパン®を知っていますか?ポリ袋を使って誰でも簡単に作れるちぎりパンとスクランブルエッグを作ってみましょう!

とき 2月7日(金) 午前10時～正午

ところ 公民館貫井南分館学習室A・B

講師 梶晶子さん(一般社団法人ポリパンスマイル協会代表理事)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 20人(申込順)

参加費 1,000円(材料費)

申込 1月15日(水) 午前9時から電話、メールまたは公民館貫井南分館窓口(☎042-383-1168
 ☒k020412@koganei-shi.co.jp)へ。



市民講座 「多文化共生とは? グローバル
社会で外国人と共生するには～」 東分館

国際化が進み、日本に在留する外国人は年々増え続けています。言葉や文化の異なる人同士が、互いに豊かな気持ちで暮らしていくには、どのような工夫が必要でしょうか。私たち一人ひとりができることを、一緒に考えてみませんか?

回	とき	内容
1	1/23	多文化共生とはなにか? 日本の現状と小金井の現状
2	1/30	【ワークショップ】 地域の中で、外国人とどう付き合うか?

※いずれも木曜日、午前10時～正午

ところ 公民館東分館集会室A・B

講師 長谷部美佳さん
 (明治学院大学教養教育センター准教授)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 20人(申込順)

参加費 無料

申込 12月18日(水) 午前9時から電話、または公民館東分館窓口(☎042-384-4422)へ。

市民講座 「写真で見る小金井の今・昔
～古きを訪ね、新しきを知る～」 緑分館

写真で見る小金井市の今と昔の違いを学び、一緒に古い小金井市を訪ねて、新しい発見をしませんか?当日は昭和の歌と一緒に歌って、昔をしのびましょう。

回	とき	内容
1	2/15	昭和30年代から40年代ごろ
2	2/22	昭和50年代から60年代ごろ

※いずれも土曜日、午前10時～正午

ところ 公民館緑分館 視聴覚室

講師 マスター木村(ミュージシャン)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順) 参加費 無料

申込 1月16日(木) 午前9時から電話または、公民館緑分館窓口(☎042-387-7301)へ。



令和2年度 市民アカデミー準備会 本館

「こんなテーマを取り上げて欲しい」「こんな講師の話を知りたい」そんなご意見、ご要望をお寄せください。

とき 1月23日(木) 午前10時～正午

※第2回は1月30日(木)以後毎週木曜日、同時刻に6回程度開催。

ところ 公民館本館学習室A

申込 不要。当日直接会場へ。

問合先 公民館本館(☎042-383-1184)

4ページの
報告記事を
参照ください。

令和2年度 高齢者学級
「けやき学級」準備会 貫井南分館

貫井南分館で開催する高齢者学級「けやき学級」の来年度の講座プログラムを提案しませんか?

とき 2月5日(水) 午前10時～正午

ところ 公民館貫井南分館学習室C

申込 不要。当日直接会場へ。

問合先 公民館貫井南分館(☎042-383-1168)

成人学校 「日本の世界遺産を知る
もず みるいちこみんぐん 百舌鳥・古市古墳群ほか」 東分館

登録の新しい世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と「長崎と天草地方の潜伏キリスタン関連遺産」を取りあげ、その登録経緯や魅力、価値、保護、課題等について学びます。

回	とき	内容
1	2/14	百舌鳥・古市古墳群
2	2/28	長崎と天草地方の潜伏キリスタン関連遺産

※いずれも金曜日、午前10時～正午

ところ 公民館東分館集会室A・B

講師 本田陽子さん(世界遺産アカデミー研究員)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 40人(申込順) 参加費 無料

申込 1月16日(木) 午前9時から電話、または公民館東分館窓口(☎042-384-4422)へ。

第35期 公民館運営審議会

令和元年9月に公民館運営審議会第35期委員が委嘱されました。

公民館運営審議会は、公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施等について調査審議を行います。

新たに委嘱された第35期公民館運営審議委員の紹介と「委員になってのひとこと」を掲載します。

○公民館運営審議会委員とは○

公民館運営審議会は、定数10人で、市立小中学校校長、教育・学術・文化・産業・社会事業に関する団体又は機関の代表、学識経験者、公募市民で構成されています。

委員の委嘱は教育委員会が行い、任期は2年となっています。

國分ひろみ（3期）（委員長）

特に戦後、社会教育法で制度化されてから公民館はその地域の人々の精神的支柱になってきたことと思う。そして今、その認識の無い市民活動も多々発生している。

図書館を持つ施設もできたが、学校、大学、博物館、商工会、自治会等との連携により多様な活動が考えられる。

世界はSDGs=持続可能な17の目標を掲げ=地球を守ろうと進んできている。公民館は現状を知り今後も、人々を刺激し、地域の繋がりを模索するリーダーでありたい。その一端に関わることができれば幸せである。

菅沼七三雄（3期）

公運審委員3期目を務めます菅沼七三雄です。これまで、企画実行委員5年・公運審委員4年と公民館活動に携わって来ました。

公民館は「つどい・学び・つながる地域の拠点」として、地域課題解決型学習を通じ多くの活動団体を生み、地域に貢献しています。

今後、今迄にも増して学校・福祉・子育て・子育て等の諸団体との連携が重要です。このための公民館の今後のあり方等を、皆様とともに考えたいと思っています。よろしく願いいたします。

渡邊恭秀(たかひで)（2期）（副委員長）

公民館のありかたについては、長らく議論されましたが、新庁舎・新福祉会館への公民館本館機能の移転、ミーティングスペースの活用等、新たな展開が現実のものとなるこの時期に副委員長にご推薦頂き担当させて頂くことになりました。

生涯学習の一環としての新たな公民館の役割も大変重要と思います。地域との連携を図り、公民館活動の発展に努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

雨宮安雄（3期）

第3期を拝命いたしました雨宮です。宜しくお願い致します。これ迄リーダーの委員さん方にご指導を頂きながら、時代に即応した公民館の在り方、ニーズに応える活動等について学んできました。

公民館は時代が変わっても何時でも誰にでも開かれ、親しみの持てる地域の公民館、いざという時、頼りになる公民館、市民の、私達の公民館、という思いを根底に置きながらこれからのより良い公民館を、如何に育ててゆくかを皆様と共に学んでいきます。



後列右から、嵯峨山さん、杉山さん、増山さん、雨宮さん
前列右から、畠山さん、渡邊さん、國分さん、菅沼さん

増山麻美（1期）

今期、PTA連合会より参加させていただきます、増山麻美です。公民館は、幅広い世代の交流や学びの場として、また、まちづくりの拠点として、色々な可能性があるのではないかと思います。私自身、一つひとつ学びながらになりますが、子育てまっただなか世代としての視点を、より身近な公民館づくりに活かしていけるように、取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

嵯峨山康夫（1期）

一期生です。公民館とは東分館で3期6年企画実行委員として関わりました。現在、江戸東京たてももの園ボランティア、そして小金井史談会で活動しております。環境・防災・子育て支援・高齢者福祉など社会的問題の活動拠点としての公民館をこれまでとは違った視点から勉強したいと思っています。

杉山恭子（2期）




前期に続き、公民館運営審議会委員を務めさせていただきます。以前は公民館を利用するだけでした。公運審に関わり、公民館はいろいろな世代や集いに開かれた身近な場であることや、講座や催事を作り上げるまでに企画実行委員、市役所やNPO職員のほか多数の市民の支えがあってこそだと実感しました。今期も地震・大雨・振込め詐欺の対策等、広範囲な公民館活動がより有意義となるよう皆様と共に考えていきたいと思っています。

畠山重信（3期）

次期公民館運営審議会は、①本館の移転問題②短中期までの5年間の具体的運営方針③NPO法人の評価、直轄公民館との整合性④公民館の事業活動のバックアップ等多岐にわたると思います。丁寧な議論を積み重ねての多くの市民が納得できる方向性を導き出すのが主要な役割だと思います。

私も集大成と位置づけて積極的な議論を展開したいと思います。

◆小金井市各公民館 Twitterアカウント・問合せ先一覧◆

小金井市公民館	公民館貫井南分館	公民館緑分館	公民館東分館	公民館貫井北分館
本町 2-15-11 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
本館・貫井南分館・緑分館共通アカウント 小金井市公民館 @koganei_koumink			 小金井市東センター @npo_higashi	 公民館 貫井北分館 @cc_nukuikita

男女共同参画講座報告

「孫・ママ・パパとの関わり方を考える孫育て講座」
 実施 11月12日 貫井北分館

11月12日開催の「孫・ママ・パパとの関わり方を考える孫育て講座」では、孫育て中の方、子育て中の方双方の立場の参加がありました。講師には家族、地域、社会全体で子育てをする日本にしたいという目標をお持ちの、NPO法人孫育て・ニッポンの棒田明子さんをお迎えしました。気さくな雰囲気、受講者の質問にたくさん答えてくれました。

今日よく耳にする「孫育て」。子世代のサポート役として祖父母の力が求められています。講座では、「一番大切なことは祖父母自身の人生」ということをベースに進められました。その中で、昔と今の子育ての違いを学んだり、子育て世代ががんばっているところをみんなで話したり、交流しながら関わり方を考えました。孫育て世代だけでなく、子育て世代の参加もあったことで、お互いの理解がより深まったようでした。

●参加者の感想●

- これからの生活にたくさんのヒントをいただきました。
- 参考になる話がたくさんあり、良かったです。大変ありがとうございました。

市民アカデミー報告

「市民アカデミー(秋期)」
 実施9月8日～10月27日 本館

市民アカデミーは、若年層にもアピールできる名称として本館の「シルバー大学」から「市民アカデミー」と名称変更して1年目になります。

2019年も1月末から市民参加(27人参加)で企画を進め、特徴である政治・経済・社会・地域・技術革新・芸術文化の課題を取り上げました。年間の延べ参加者数は、567人が参加し、それぞれのテーマに応じた専門の講師を招き、今日的な課題を学ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることができました。若年層の参加をお待ちしております。



市民講座報告 「ゼロから学ぶSDGs」

実施 9月24日・10月8日・29日・11月12日
 東分館

東分館では、今回の「SDGs(エスディージェズ)」について昨年来より企画実行委員の皆さんと話し合いを重ね企画しました。SDGsは、2015年に国連で採択された世界を変えるための17*1の目標で、国際社会が2030年までに持続可能な社会を実現するため、世界の人々が垣根を越えこの目標達成に向け係わっていくことです。

講座は全4回、講師は省庁などのSDGsに係わる委員などを歴任されている明治大学特任教授の関正雄先生です。

はじめ、課題講座であるがゆえに参加の申込みが低調でした。そこで、積極的に広報を展開したところ、最終的に38人までお申し込みをいただきました。

講座の内容は、以下のとおりです。

- 9/24 SDGsとは、何なの？
- 10/8 地球を守るためのSDGs
- 10/29 人が人らしく生きるためのSDGs
- 11/12 SDGs達成のために、わたしたちはどうすればよいのでしょうか。

参加の皆さまは、毎回真剣な眼差しで学び、考え、質問をされていたことが印象的でした。またアンケートでは、こういった大切な講座を継続していただきたい旨のご感想が多くありました。

この「SDGs」公民館の課題講座のあらゆるテーマが入っていると言っても過言ではないかと思えます。これからもこういった講座を継続していくことが役割とも感じた講座でした。

(参考) ※1

- 「世界を変えるための17の目標」
- ① 貧困をなくそう
 - ② 飢餓をゼロに
 - ③ すべての人に健康と福祉を
 - ④ 質の高い教育をみんなに
 - ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
 - ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
 - ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - ⑧ 働きがいも経済成長も
 - ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - ⑩ 国や人の不平等をなくそう
 - ⑪ 住み続けられるまちづくりを
 - ⑫ つくる責任 つかう責任

- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナリシップで目標を達成しよう



2030年に向けて
 世界が合意した
 「持続可能な開発目標」です

古紙配合再生紙を使用しています。